

令和3年11月12日付【建設工業新聞】
九州支部 建コン協九州ら5団体 コンプライアンス研修会
＜改正独占禁止法のポイント学ぶ＞



改正独占禁止法の
ポイント学ぶ

建コン協九州ら5団体
コンプライアンス研修会

建設コンサルタント協会
(建コン協) 九州支部(田
中清支部長)と福岡県測量
設計コンサルタント協会
(横山巖会長)、福岡県地
質調査業協会(香月裕宣理
事長)、日本補償コンサル
タント協会九州支部(原田
卓支部長)、全国上下水道
コンサルタント協会九州支
部(松尾禎泰支部長)は10
日、2021年度の「コン
プライアンスに関する会員
研修会」を福岡市博多区の
福岡県中小企業振興センタ
ーで開いた。写真。約20
0人が参加。改正独占禁止
法のポイントなどを学ん
だ。

開会あいさつで田中支部
長は担い手を確保・育成す
るためにも法律を守る業界
だと認識してもらおう必要が
あるとし「われわれは透明
性のある営業活動をやって
いく義務がある」と強調し
た。

「独占禁止法の最近の状
況と対応について」と題し
講演した小林・藤堂法律特
許事務所の岩下圭一弁護士
は、課徴金の算定対象期間
が最長10年まで大幅に拡大
されるなど独占禁止法に違
反した場合のリスクは増大
していると指摘。危機意識
を持って「疑われる行動を
取らないことが大事」など
と警鐘を鳴らした。